



## 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月31日

上場会社名 第一三共株式会社

上場取引所 東 大名

コード番号 4568 URL <http://www.daiichisankyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中山 讓治

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 斎 寿明

TEL 03-6225-1125

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日

平成23年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト、報道関係者向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	456,042	△8.6	62,192	△31.0	66,345	△28.4	37,045	△29.0
23年3月期第2四半期	498,886	6.0	90,107	77.2	92,647	77.3	52,154	179.0

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 16,642百万円 (△28.7%) 23年3月期第2四半期 23,337百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭		円 銭	
24年3月期第2四半期	52.63		52.56	
23年3月期第2四半期	74.09		74.03	

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
24年3月期第2四半期	1,472,155		894,352		57.2	
23年3月期	1,480,240		887,702		57.4	

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 841,962百万円 23年3月期 849,004百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00
24年3月期	—	30.00			
24年3月期(予想)			—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	930,000	△3.9	100,000	△18.1	90,000	△31.7	50,000	△28.7	71.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
(注)詳細は、4ページ「2. その他の情報」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

#### (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	709,011,343 株	23年3月期	709,011,343 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	5,100,989 株	23年3月期	5,097,302 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	703,912,697 株	23年3月期2Q	703,926,308 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、3ページの「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. その他の情報 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
(4) 追加情報 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	9
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(4) セグメント情報等 .....	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	11

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

【連結業績】

(単位：百万円、端数切捨て)

	2011年3月期 第2四半期累計	2012年3月期 第2四半期累計	対前年同期増減額 (増減率)
売上高	498,886	456,042	△42,844 (△8.6%)
営業利益	90,107	62,192	△27,915 (△31.0%)
経常利益	92,647	66,345	△26,302 (△28.4%)
四半期純利益	52,154	37,045	△15,108 (△29.0%)

2012年3月期第2四半期累計期間の為替レート：79.81円/米ドル、113.78円/ユーロ、1.83円/インドルピー

2011年3月期第2四半期累計期間の為替レート：88.95円/米ドル、113.84円/ユーロ、2.01円/インドルピー

2011年4月1日から9月30日までの当第2四半期連結累計期間の売上高は、4,560億円（前年同期比8.6%減）となりました。高血圧症治療剤オルメサルタンなどの伸長に加え、当期に新発売したNMDA受容体拮抗アルツハイマー型認知症治療剤メモリーやプロトンポンプ阻害剤ネキシウム（胃潰瘍、十二指腸潰瘍、逆流性食道炎等の治療）などが寄与いたしました。円高に推移した為替の影響190億円に加え、販売移管に伴う国内医薬の売上高減少、ランバクシー・ラボラトリーズLtd.（以下「ランバクシー」）の売上高減少などにより、428億円の減収となりました。

営業利益は622億円（前年同期比31.0%減）となりました。損益構造の全社的見直しによる経費圧縮に加え、円高に推移した為替の影響で海外における販売費及び一般管理費や研究開発費が減少したものの、売上高減少に伴う売上総利益の減少の影響が大きく、279億円の減益となりました。

経常利益は663億円（前年同期比28.4%減）となりました。営業外損益においてランバクシーのデリバティブ評価益が減少したものの、為替差益の寄与もあり営業利益に比較して減益幅が縮小し263億円の減益となりました。

四半期純利益は151億円減益の370億円（前年同期比29.0%減）となりました。

当第2四半期連結累計期間におきましては、前述のメモリー、ネキシウムに加え、日本において経口FXa阻害剤リクシアナ（下肢整形外科手術施行時の静脈血栓塞栓症の発症抑制）を発売いたしました。米国においてはロシュグループが発売した転移性悪性黒色腫（メラノーマ）治療剤Zelborafの共同販促を開始いたしました。また、中国において排尿障害改善薬シロドシン（国内製品名ユリーフ）の承認を取得いたしました。

なお、3月11日に発生した東日本大震災により、第一三共プロファーマ（株）の工場が被害を受けましたが、平塚工場につきましては4月より、小名浜工場につきましては8月下旬より生産を再開しております。

【報告セグメント】

① 第一三共グループ

第一三共グループの売上高は、3,778億円（前年同期比5.6%減）となりました。

a. 日本

日本の売上高は、2,407億円（前年同期比7.4%減）となりました。

国内医薬では、消炎鎮痛剤ロキソニンテープ、高血圧症治療剤レザルタスなどの伸長に加え、当期に新発売したメモリーやネキシウムなどが寄与いたしました。導入元等への販売移管品目の影響を受け、売上高は2,063億円（前年同期比5.0%減）となりました。

輸出医薬では、各国での独占販売期間満了に伴う合成抗菌剤レボフロキサシンの輸出額減少や円高の影響などにより、売上高は103億円（前年同期比48.7%減）となりました。

ヘルスケア（OTC事業）では、スイッチOTCの消炎鎮痛剤ロキソニンSなどが伸長し、売上高は224億円（前年同期比6.7%増）となりました。

b. 北米

北米の売上高は、910億円（前年同期比5.1%減）となりました。抗血小板剤エフィエントなどの伸長に加え、当期に買収したPlexxikon Inc. でのZelboraf関連の収入などが寄与いたしました。円高の影響や貧血治療剤ヴェノファアの売上高の減少などにより、減収となりました。

c. 欧州

欧州の売上高は、325億円（前年同期比3.6%増）となりました。高血圧症治療剤オルメテック、セビカー、セビカーHCTなどの売上拡大により、増収となりました。

d. その他の地域

その他の地域の売上高は、136億円（前年同期比4.8%増）となりました。韓国、ベネズエラ、ブラジルなどにおける売上高増加により、増収となりました。

② ランバクシーグループ

ランバクシーグループの売上高は、米国においてアルツハイマー型認知症治療剤ドネペジルが寄与いたしました。前期業績に大きく貢献した抗ウイルス剤バラシクロビルの売上高が今期は大幅に減少したこと、及び円高の影響などにより、782億円（前年同期比20.6%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期末における純資産は8,944億円（前期末比66億円増加）、総資産は1兆4,722億円（前期末比81億円減少）、自己資本比率は57.2%（前期末57.4%）となりました。

純資産は、期末配当金の支払いや、円高の影響で海外子会社の資産が減少したことによってその他の包括利益累計額が減少した一方で、四半期純利益及び北里第一三共ワクチン株の設立に伴う少数株主持分の計上等により増加しております。

総資産は、純資産が増加したものの、ランバクシーの社債償還等により、前期末に比べて減少しております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

2011年7月29日に公表しました2012年3月期連結業績予想との差異は、以下のとおりであります。

[通期]

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 970,000	百万円 90,000	百万円 90,000	百万円 50,000	円 銭 71.03
今回発表予想 (B)	930,000	100,000	90,000	50,000	71.03
増減額 (B-A)	△40,000	10,000	0	0	
増減率 (%)	△4.1	11.1	0.0	0.0	
(ご参考) 前期実績 (2011年3月期)	967,365	122,143	131,762	70,121	99.62

(修正の理由)

売上高につきましては、円高基調の長期化を勘案し、第3四半期以降の想定為替レートを1米ドル75円、1ユーロ105円に変更するとともに、ライトポルド・ファーマシューティカルズ Inc. における減収等を織込み、前回予想から400億円下方修正し、9,300億円と見込んでおります。

営業利益につきましては、経費の節減等により100億円増の1,000億円となる見込であります。

しかし、近時におけるインドルピーの対米ドルレート下落に伴い、ランバクシーで為替差損の発生が予想されるため、経常利益及び当期純利益につきましては、前回の予想を変更しておりません。

## 2. その他の情報

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	262,037	84,858
受取手形及び売掛金	205,590	207,045
有価証券	157,653	203,098
商品及び製品	89,143	102,176
仕掛品	21,598	22,353
原材料及び貯蔵品	32,050	34,366
繰延税金資産	90,245	95,688
その他	38,075	40,991
貸倒引当金	△2,319	△2,566
流動資産合計	894,075	788,011
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	119,962	125,023
機械装置及び運搬具（純額）	46,706	48,019
土地	38,407	38,334
建設仮勘定	20,599	25,946
その他（純額）	12,034	12,151
有形固定資産合計	237,710	249,475
無形固定資産		
のれん	67,316	87,049
その他	89,606	158,422
無形固定資産合計	156,923	245,471
投資その他の資産		
投資有価証券	102,416	108,295
繰延税金資産	73,245	66,855
その他	16,149	14,339
貸倒引当金	△281	△292
投資その他の資産合計	191,531	189,196
固定資産合計	586,164	684,143
資産合計	1,480,240	1,472,155

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	58,407	59,171
1年内償還予定の転換社債型新株予約権付社債	46,020	—
短期借入金	29,342	33,189
未払法人税等	7,545	8,162
返品調整引当金	1,244	780
売上割戻引当金	1,623	2,001
災害対策引当金	4,570	3,997
資産除去債務	178	196
その他	158,019	147,934
流動負債合計	306,952	255,433
固定負債		
社債	100,000	100,000
長期借入金	124,036	127,527
繰延税金負債	28,463	57,675
退職給付引当金	11,541	13,279
役員退職慰労引当金	155	150
その他	21,388	23,735
固定負債合計	285,585	322,368
負債合計	592,537	577,802
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,000	50,000
資本剰余金	105,194	105,194
利益剰余金	774,274	790,202
自己株式	△14,581	△14,585
株主資本合計	914,888	930,810
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,559	16,344
繰延ヘッジ損益	1,193	1,318
為替換算調整勘定	△83,636	△106,511
その他の包括利益累計額合計	△65,883	△88,848
新株予約権	3,544	3,849
少数株主持分	35,153	48,540
純資産合計	887,702	894,352
負債純資産合計	1,480,240	1,472,155



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	498,886	456,042
売上原価	138,492	128,864
売上総利益	360,393	327,177
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費及び販売促進費	47,665	44,396
給料手当及び賞与	56,311	57,646
退職給付費用	5,618	4,376
研究開発費	89,304	84,061
その他	71,385	74,503
販売費及び一般管理費合計	270,285	264,984
営業利益	90,107	62,192
営業外収益		
受取利息	1,618	1,562
受取配当金	1,487	1,414
デリバティブ評価益	4,690	2,371
為替差益	—	1,272
その他	2,306	2,652
営業外収益合計	10,102	9,273
営業外費用		
支払利息	2,992	2,971
為替差損	2,439	—
持分法による投資損失	214	41
その他	1,915	2,107
営業外費用合計	7,562	5,121
経常利益	92,647	66,345
特別利益		
固定資産売却益	4,531	1,695
持分変動利益	69	73
投資有価証券売却益	2,862	—
関係会社株式売却益	33	—
その他	96	200
特別利益合計	7,594	1,969
特別損失		
固定資産処分損	696	983
災害による損失	—	1,860
たな卸資産廃棄損	—	1,564
事業再編損	479	1,279
減損損失	682	311
環境対策費	490	244
投資有価証券評価損	3,114	22
偶発損失引当金繰入額	200	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	139	—
その他	310	—
特別損失合計	6,112	6,266
税金等調整前四半期純利益	94,129	62,049

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
法人税等	34,713	22,684
少数株主損益調整前四半期純利益	59,415	39,364
少数株主利益	7,260	2,318
四半期純利益	52,154	37,045

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	59,415	39,364
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10,865	△218
繰延ヘッジ損益	△108	197
為替換算調整勘定	△24,935	△22,591
持分法適用会社に対する持分相当額	△168	△109
その他の包括利益合計	△36,077	△22,722
四半期包括利益	23,337	16,642
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	19,019	14,066
少数株主に係る四半期包括利益	4,317	2,576

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	第一三共 グループ	ランバクシー グループ	合計
売上高			
外部顧客への売上高	400,369	98,516	498,886
セグメント間の内部売上高又は振替高	33	141	174
計	400,402	98,657	499,060
セグメント利益	65,843	33,652	99,495

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	99,495
取得原価配分額の償却	△1,830
のれんの償却	△1,208
投資有価証券売却の調整	△1,607
セグメント間取引消去	△484
その他の連結調整	△235
四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益	94,129

II 当第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	第一三共 グループ	ランバクシー グループ	合計
売上高			
外部顧客への売上高	377,848	78,193	456,042
セグメント間の内部売上高又は振替高	127	433	561
計	377,976	78,626	456,603
セグメント利益	56,253	9,895	66,149

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	66,149
取得原価配分額の償却	△1,666
のれんの償却	△1,206
セグメント間取引消去	△967
その他の連結調整	△259
四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益	62,049

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。